

事業所名		児童発達支援事業きだっこ	公表日				令和7年 3月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・指導訓練室を中央で仕切り活動の場所を分けている。 ・プレイルームが狭く全員で運動できない時は廊下でも活動し、密集しないようにしている。	・プレイルームは全員で運動するには狭いと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		・職員の休み希望が重なることがある。 ・パート職員に勤務時間がサービス提供時間より短いので、配置数は適切であるが、余裕がなくなるときがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・子どもたちが片付けやすいように、棚やカゴの配置を工夫している。	・大人用のトイレを子どもが使うときに手すりがないので、不安定な姿勢になり使用しにくい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・整理整頓を心がけている。 ・子どもたちにとって園庭が狭くなってきたので、地域の保育園や小学校の園庭や運動場を借りて、思いっきり体を動かせる活動を取り入れている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・手作りのパーテーションや段ボールハウスを使い、安心でいる空間作りを心がけている。	・個別対応できる部屋があるといい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・児発職員での会議やミーティング時に話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・評価表を職員全員で共有し、意見交換を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・月1回の児発会議の他に、提案があれば話し合いの時間を作っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・月1回、研修に参加するようにしている。 ・積極的に研修に参加し、学んだことを日々の療育に活かしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・公表は3月末までに行う。利用児の保護者には配布している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・必ず職員間で子どもの様子や支援の方向性を話し合い、計画に反映している。 ・個別支援計画は職員全員で共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・計画の内容、方向性、保護者のニーズを職員に伝達・共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・アセスメントツールとして、『遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表』を活用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎月の活動内容は、前月の中旬までに全員で話し合い、案を出し合い、活動予定として公開している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・成長に合わせて活動内容を考えている。 ・発達に合わせて1つの活動を繰り返し長く行うときもある。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・毎朝、必ず打ち合わせを行い、子どもの様子、支援の内容、職員の動きを確認し、参加できないパート職員にはホワイトボードを使って伝達している。	・勤務時間の都合上、毎日の打ち合わせに参加できていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・一日の出来事、保護者の方からの連絡事項を支援後に伝え合ったり、振り返りを行ったりし、次の日の支援に活かしている。	・勤務時間の都合上、毎日の打ち合わせに参加できていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・支援の中でうまくいかなかったことを振り返り、改善していけるように取り組んでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・他事業所や保育所との連携を積極的に行い、子どもたちの支援の幅を増やしてきた。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	・同学年の友だちと遊ぶ機会を持てるように交流を積極的に行ってきた。	・保育園との並行通園ができるといい。 ・支援の内容の情報共有ができていないので、行っていきたい。 ・わからない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	7		・現在は対象児がいらないが、来年度以降は行っていく予定。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	3	・センターの理学療法士に子どもの発達の相談をしたり、実際に見に来てもらいアドバイスをもらったりしている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・地域の保育園との交流は月に1回程度、併設する保育所との交流は月に3回程度行っている。 ・保育園との交流を子どもたちは楽しみにしていて短い時間だが、充実している。職員にとっても学びの場となっている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・HUGシステムで1日の様子や活動の写真を送信したり、送迎時に対面で伝え合ったりしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・外部の講師をお願いして、保護者向けの勉強会を行った。 ・来年度はペアレントトレーニングの開催を予定している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・保護者参加の勉強会やグループ相談会、参観などの交流会を行っている。 ・行事にきょうだい児も誘っている。運動会と一緒に楽しむことができた。	・行事の時にきょうだい児の参加はあるが、きょうだい児同士の交流はあまりない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・わからない。 ・来年度は地域の方を招待したイベントを施設全体で開催する予定。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・不審者訓練・行方不明者搜索訓練・嘔吐物処理訓練は定期的に行っている。マニュアルがあるものとなないものがあるので、今後作成し説明していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・3月にBCP訓練を行った。 ・火災、地震、水害等の避難訓練は月に1回行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・子どもの名前と何アレルギーなのか一覧表になっていて、見やすわかりやすい。	・指示書が必要な対象児はいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・安全計画があり、職員間で周知している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		・安全計画の説明を家族には行っていないので、今後行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・気づきメモを活用・共有している。 ・危ないな、と感じた時はその都度見直しを行っている。	・他部署のヒヤリハットは共有できていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待の芽アンケートを行い、児発会議で虐待防止の研修や事例検討会を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・身体拘束が必要となる子どもが利用している時は個別支援計画に記載し、保護者に許可を得ていた。 ・身体拘束はしていない。	